

香美町ならではの 教育の挑戦

●問い合わせ先 町教育委員会生涯学習課

町教育委員会では、平成26年度から第1次香美町子どもの読書活動推進計画に基づき「乳幼児期から本に親しむ、出会い・環境・習慣づくり」を基本方針として子どもの読書活動の推進に取り組んできました。令和5年度からは「第2次香美町子どもの読書活動推進計画」により、第1次計画の状況や課題、これまでの取り組みについて検証した結果を踏まえ、家庭、地域、学校、教育委員会などがそれぞれの分野で担うべき役割を認識した上、一体となって子どもの主体的な読書活動を推進するとともに、条件整備に取り組んでいきます。

第2次香美町子どもの読書活動推進計画（計画期間：令和5年度～令和9年度）

●基本方針

「乳幼児から大人まで本に親しむ、出会い・環境・習慣づくり」

●取組方針

「学校」

自然に本に手を伸ばす子どもを育てる

「地域」

大人が手本になって子どもへ読書の面白さを伝える

「家庭」

読書が楽しいとみんなが実感できる

「教育委員会・公民館」

家庭・地域・学校をつなぐ

子どもが本に親しむ取り組み

乳幼児期から大人と一緒に本に親しむよう読み聞かせや、朝読書、家読を積極的に行うなど、子どもの発達段階に応じて、自身が読書の楽しさを知る「出会いづくり」に取り組めます。また、子どもが読書活動に関心を持てるよう、手の届く所に本がある「環境づくり」、家庭で大人も一緒になって本を読む「習慣づくり」を家庭、地域、学校、教育委員会が連携し本に親しむ機会を提供します。

豊かな読書ライフを楽しむ

子どもの読書活動推進計画をより推進していくためには、関係機関や団体が相互に連携を図り、社会全体で取り組んでいくことが重要です。町内においては、自治区・事業所などへの働きかけ、読み聞かせボランティアの育成、兵庫県立図書館や豊岡市、養父市の公共図書館の相互利用事業などのネットワークも活用しながら、町民の図書サービスの充実を図ります。

また、読書活動を推進していくためには、読書ができる環境を整えることが必要です。町域が広く、公共交通機関が少ない本町においては、図書検索などICTを活用した利用者の利便性の向上、移動図書館車を充実させるなど、サービスの向上を図っていきます。
(主な図書室：香住区中央公民館、村岡区中央公民館、小代地区公民館)



▲読書の楽しさを届ける移動図書館車「まなみ」



▲他市町とのネットワークにより広がる図書室

裏表紙で『図書室へ行こう♪』を連載中です

毎月おすすめの図書を紹介していますので、本に触れあうきっかけにしてください。今月は絵本を紹介しています。ぜひご覧ください。